

地域再生計画（地方創生道整備推進交付金）事後評価調書

都道府県名	山口県	事業実施主体	山口県、下関市	地域再生計画名	「しものせき」山里海を活かした交流のまちづくり計画
計画期間	平成22年度～平成28年度	評価責任者	山口県下関農林事務所森林部長、山口県下関農林事務所農村整備部長、下関市農林水産振興部農林整備課長		

	指標		基準値		中間目標値		最終目標値		事後評価	最終目標値の実現状況に関する評価	
			基準年度		年度	中間実績	基準年度	最終実績			
①地域再生計画に記載した数値目標の実現状況	指標 1	農林水産業交流体験人口の増 (市北部拠点施設利用者数 20%増)	84万人	H22			100万人	H28	143万人	○	広域農道、林道の一体的な整備とそれをより効果的なものとする新たな道の駅の整備により、都市農村交流が促進され、目標値を大幅に上回る達成となった。
	指標 2	交流拠点施設・農業拠点施設へのアクセス時間改善（菊川～豊田～宇賀 15分短縮）	1時間30分	H22			1時間15分	H28	1時間15分	○	広域農道「豊閑2期」及び「豊閑3期」の開通により交流拠点施設・農業拠点施設へのアクセス時間の短縮が図られ、目標値を達成できた。
	指標 3	森林整備面積の増 (整備量 20%増)	年間 450ha	H22			年間 540ha	H28	年間 579ha	○	林道整備による効果として森林施業が困難な地域へのアクセス改善が図られた結果、森林整備面積の増となり目標を達成できた。
②地域再生計画に記載した数値目標以外の波及効果の実現状況	指標 1										
	指標 2										
③事業の進捗状況	事業名		整備量（その他の事業では取組内容）			事業の進捗状況に関する評価					
			計画	中間年度 (H25)	最終実績						
	特別措置を適用して行う事業	広域農道整備事業（整備延長） 豊閑2期、豊閑3期地区	9.5km	9.5km	9.5km	農道の整備により、南部の都市区域と北部の農山村地域の交流人口の増加及びアクセス時間の改善が図られた。					
		林道整備事業（整備延長） 林道白滝線	4.7km	2.3km	4.3km	計画期間の延伸により、林道開設進度が遅れたため、林道舗装計画の延長が減となったが、本事業により今まで森林施業が困難であった地域の豊富な森林資源へのアクセス改善が図られた結果、森林整備面積の増につながった。					
	その他の事業	道の駅「北浦街道 豊北」の整備	北部の農林水産品の販売拠点・交流の場として、新たな道の駅の整備を実施			新たな道の駅が整備されたことにより、北部の農林水産品の販売拠点として交流の場が創出され、南部の都市地域と北部の農山村地域の交流人口の増加につながった。					
計画外で独自に実施した事業	森林整備加速化・林業再生事業	路網の整備及び高性能林業機械等の導入			高性能林業機械を搬入することができる路網の整備により、搬出間伐等の施業が進み、間伐材等の素材生産量の向上を図ることができた。						
	木材の利用促進				道の駅「北浦街道 豊北」は、地元豊田流域産材を材料とした、スギ・ヒノキのテーブルやイス等のこだわりの製品を設置して、県内初の「やまぐち木の店」としてオープンし、木材の地産・地消を促進している。						
④評価方法	「下関地域農林業・農山村振興協議会」などを開催し、達成状況の評価・検討等を行った。										
⑤事後評価の公表方法	山口県下関農林事務所及び下関市農林水産振興部農林整備課のホームページに掲載										
⑥計画全体の総合評価	本地域再生計画に基づき実施した事業により、多様な地域資源の広域的かつ有機的なネットワークが強化され、達成目標である「農林水産業交流体験人口の増加」、「交流拠点施設・農業拠点施設へのアクセス時間の改善」、「森林整備面積の増加」について、目に見える効果が現われ、地域の活性化に貢献することができた。										
⑦今後の方針等	本計画は平成28年度に目標を達成し完了したが、活力ある中山間地域づくりを目指すため、今後とも都市農村交流の促進と農林水産物の振興による地域活性化を推進していく。										